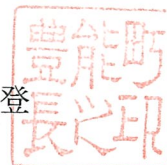


財政事情に関する公表書

豊能町の令和5年度・令和6年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和6年8月1日

豊能町長 上 浦 登



我が国の景気は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

本町では、人口の減少や高齢化による影響で、主要な自主財源である町税の減少傾向が続いており、依然として歳入の67%を地方交付税などの依存財源に頼る状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況においても持続可能な財政運営を目指すため、本町では、現有施設の機能を整理し、施設を集約・多目的利用（多機能化）を実施することにより、今後の財政負担の軽減と将来の施設維持の効率化を図るとともに、行政課題の解決や住民から求められる施設像の実現に繋げていくことが適切であるとし、令和5年6月に「豊能町公共施設再編に関する基本方針」を定めました。今後、基本方針の内容に従って、施設の改修費、修繕費や維持管理費の削減を行い、健全な財政運営を目指してまいります。

令和5年度の一般会計決算見込みは、歳入総額につきましては79億3,857万3千円で、対前年度8億7,935万3千円、10.0%の減、歳出総額につきましては73億6,227万4千円で、対前年度9億7,691万1千円、11.7%の減となっております。形式収支につきましては、5億7,629万9千円の黒字となっております。実質収支につきましては、令和6年度に繰越すべき額である1億3,724万5千円を差し引き、4億3,905万4千円の黒字となっております。

また、令和6年6月末現在における令和6年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み89億3,418万8千円で、前年度同期と比較して16億3,390万9千円、22.4%の増となっています。6月末現在での収入済額は、28億9,185万6千円で、前年度同期と比較して1億5,917万8千円、5.8%の増、支出済額は、13億3,833万4千円で前年度同期と比較して2億1,168万7千円、18.8%の増となっています。

その他の詳細については、別添のとおりです。